

		前期				後期							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科別の指導	国語	「漢字練習問題」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと) 「文法：敬語」「職場実習：お礼状」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと) 「葉書の書き方」(聞くこと・話すこと、書くこと)				「漢字練習問題」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと) 「履歴書・各種申込書」(聞くこと・話すこと・読むこと、書くこと) 「詩・俳句」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと)				「漢字練習問題」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと) 「文法：敬語」「職場実習：お礼状」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと) 「詩・俳句」(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと)			
	社会	「日本地図」(国土)、「時事問題」(国の様子)				「公共物の利用」(公共施設)、「国民の権利と義務」(社会参加)「時事問題」(国の様子)				「時事問題」(国の様子)、「調べ学習」(歴史)			
	数学	「時間の計算」、「速さの計算」(数と計算) 「時間の計算」、「式の展開・因数分解」、「2次方程式」※肢体3年(数と計算) 「四則計算」、「時間」、「買い物」(数と計算)				「買い物計算」、「重さ・計測」(数と計算)、「統計」、「データの活用」 「相似」(図形)、「統計」※肢体3年(データの活用) 「重さ」、「生活費」(数と計算)				「生活費」(数と計算、変化と関係)、「プレゼントボックス作り」(図形) 「百分率」(数と計算)			
	理科	「天気」(地球・自然)、「動物」(生命)				「天気」(地球・自然)、「植物」(生命)				「天気」(地球・自然)			
	音楽	「音楽に親しもう」 校歌、ひまわりの約束(歌唱表現)、大合奏(器楽表現)、リクエスト曲(鑑賞)				「音楽で交流しよう」 全校テーマソング・交流の広場の歌(歌唱表現)、木星(器楽表現)、リクエスト曲(鑑賞)				「卒業に向けて」 ふるさと・式歌(歌唱表現)、ふるさと(器楽表現)、リクエスト曲(鑑賞)			
	美術	「デザイン」、「イラスト」、「ステンシル」、「色彩」 「スケッチ」(表現)、「合評会」(鑑賞)				「立体」、「染色」、「版画」、「絵画」、「アニメーション」、「写真」(表現) 「美術史」、「合評会」(鑑賞)				「スケッチ」校内作品展(表現)(鑑賞)			
	保健体育	「体力測定」、「ウォーミングアップ」(体づくり運動)、「生活習慣病」(保健)				「短距離走・リレー」(陸上競技)、「健康」(保健)				「サッカー」(球技) 「妊娠」(保健)			

	情報	アカウント作成、情報モラル、タイピング、Excel (情報社会の問題解決、情報通信ネットワークとデータの活用)	Word (情報社会の問題解決)	iPad (情報社会の問題解決)、未来の社会(コミュニケーションと情報デザイン)
各教科等を合わせた指導	生活単元学習	<p>「校外学習を成功させよう！5月編」ニフレルについての学習、公共交通機関の利用計画作成、昼食計画書作成、生き物クイズ、しおり作り、新聞作り、校外学習の振り返り発表</p> <p>「社会人になるために」敬語</p> <p>「ふれあい・心のステーションに向けて」公共交通機関の利用計画作成、販売練習、接客練習、シフト決め、取材、アピールポイント、ポップ作り</p>	<p>「ふれあい・心のステーションの振り返り」時給計算、ムービー作り、ふれステの振り返り発表、発表会</p> <p>「むこうがおかフェスタに向けて」販売練習、接客練習、アピールポイント、店名決め、シフト決め、動画製作、設営</p> <p>「むこうがおかフェスタの振り返り」売り上げ計算、ムービー(新聞)作り、むこフェスの振り返り発表、発表会</p>	<p>「スキルアップ！生活力」卒業後のスケジュール表作成、食生活、調理実習</p> <p>「校外学習を成功させよう！2月編」植物園についての学習、公共交通機関の利用計画作成、昼食計画書作成、植物クイズ、しおり作り、校外学習の振り返り発表</p>
	作業学習	<p>「ふれあい・心のステーションの製品を作ろう」春夏秋冬正方形の小皿、曲線三角小鉢、花小鉢、星座のケーキプレート、湯呑み、茶碗、生産計画管理、布製品、コースター、鍋敷き</p>	<p>「学校祭で販売する製品を作ろう」 曲線三角小鉢、湯呑み、茶碗、生産計画管理、布製品</p> <p>「清掃の基礎を学ぼう(3年)」 タオル、スクイージー、自在ぼうき、乾式モップ</p> <p>「接客の基礎を学ぼう(1、2年)」 あいさつ、身だしなみ、言葉使い</p>	<p>「干支のお皿を作ろう」 小皿、小判皿、大皿、生産計画管理</p> <p>「清掃の基礎を学ぼう(3年)」 タオル、自在ぼうき、乾式モップ</p> <p>「製品を作ろう(1、2年)」竹箸、スプーン、フォーク、ナイフ作り</p> <p>「製品を作ろう」布製品</p>

特別活動	全校(始業式、入学式、離任式、終業式、交流のひろば、校外学習、学校祭、卒業式、修了式)			
	学部(ホームルーム、交流のひろば、生徒総会)			
	クラブ(卓球バドミントン、アクティブスポーツクラブ、陸上、美術、音楽)、自治(生徒会、美化保健、放送、図書)			
領域別の指導	自立活動	<p>「将来に向けてレベルアップ! (11組)」テーマトーク、発生と発音の練習、聞き取り、ストレッチ、ゲーム(コミュニケーション、環境の把握、身体の動き)</p> <p>「ソーシャルスキルトレーニング(10組)」協力ジェスチャーゲーム・なんでもベスト3・調理実習(人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション)</p> <p>運動機能・言語指導</p>	<p>「将来に向けてレベルアップ! (11組)」プレゼン大会、発生と発音の練習、ストレッチ、ゲーム(コミュニケーション、環境の把握、身体の動き)</p> <p>「ソーシャルスキルトレーニング(10組)」プレゼン名人・調理実習・お楽しみ会を企画しよう(人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション)</p> <p>運動機能・言語指導</p>	<p>「将来に向けてレベルアップ! (11組)」世界旅行すごろく、発生と発音の練習、ストレッチ、ゲーム(コミュニケーション、環境の把握、身体の動き)</p> <p>「ソーシャルスキルトレーニング(10組)」協力福笑い・すごろく作り(人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション)</p> <p>運動機能・言語指導</p>
		<p>「働くことを考えよう」</p> <p>「手帳と雇用形態について」</p> <p>「職場体験実習に向けて・振り返り」</p> <p>「進路相談に向けて」</p>	<p>「自立と社会参加について考えよう」</p> <p>「自己理解と他者理解」</p> <p>「進路相談に向けて」</p>	<p>「職場体験実習に向けて・振り返り」</p> <p>「進路相談に向けて」</p> <p>「進路決定までの歩み」</p> <p>「調べ学習・レポート発表」</p>
探究の時間	総合的な			

単元名	作業学習 「ふれあい・心のステーションに向けた製品作り」		教科・領域の視点 (教科・領域等関連表参照)	国語、社会、数学、美術、職業、家庭科、道徳、自立活動
学部 クラス	高等部 11 組 (3 年)			
<本単元でつきたい力(単元設定理由)>				
<p>本学級は、企業就労を進路の柱として、働くための基礎を養うことを第一に考えている。そこで作業をとおして、自分の課題がわかり、解決する方法を具体的に考えられる、「課題解決能力」を養いたいと考えている。作業に関する技術面と作業に向かう規律面の両面から自分の課題と向き合い、できることから改善していき、卒業後、スムーズに就労に移行できるような準備段階として授業を計画した。</p>				
<前単元とのつながり>				
<p>前年度まで、多くの製品製作に取り組み、製品製作の手順や作業学習の流れ、道具の使い方に慣れてきた。そこでさらに製品製作の計画や道具の管理等、生徒主体で取り組める内容を取り入れ、作業日誌をより具体的な振り返りができるように改善することで、より実際に自分たちが主体となって働けるような設定にした。</p>				
<共生社会へのつながり>				
<p>卒業後は、様々な人の支援を受けながら、経済的にも自立しながら社会で生きてほしいと考える。障害があろうとも、一人の社会人として扱われる世の中で、さらに卒業後も成長していき、担い手となる人材として働ける力をつけることと、働き給料を稼ぐことで、余暇を充実させる等、地域でしっかり消費活動ができる一人の大人として生きていける基礎となる部分を育てたい。</p>				
<単元目標>				
<p>(1) 作業規律(入退室の仕方、敬語での報告、時間を意識する等)を意識した作業ができる。(知識及び技能) (2) 自分の課題がわかり、課題解決の方策を考え、自ら改善に導くことができる。(知識及び技能) (3) 全体的な製作状況や場面に応じて、臨機応変に対応することができる。(思考力・判断力・表現力) (4) 質の高い製品を多く作るために効率良く作業を進めることができる。(主体的に活動に取り組む態度)</p>				
<単元目標の評価規準>				
<p>(1) 作業規律(入退室の仕方、敬語での報告、時間を意識する等)を意識した作業ができたか。(知識及び技能) (2) 質の高い製品を多く作るために効率良く作業を進めることができたか。(知識及び技能) (3) 自分の課題がわかり、課題解決の方策を考え、自ら改善に導くことができたか。(思考力・判断力・表現力) (4) 全体的な製作状況や場面に応じて、臨機応変に対応することができたか。(主体的に活動に取り組む態度)</p>				
<児童生徒の実態と目標>				
生徒名	実態(単元内容と絡めて)	個人の単元目標	手立て	
A (3年)	作業規律を意識することができるが時間配分を考え作業することが苦手である。課題がわかるが解決の方法をみつけることが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識しながら一定の作業スピードで作業ができる。 課題解決に向けて、様々な方法を試し、改善することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に残りの作業時間を知らせる。 課題となっている原因を一緒に考え、様々な方法で試行錯誤できるように促す。 	
B (3年)	作業規律や課題を意識して作業し、周りの状況に応じて臨機応変に対応できる。丁寧に作業を進められるが、作業に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて他者と連携して、協力しながら作業ができる。 作業工程によって作業時間を短縮し、質を落とさず作業量を増やすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に関連を促す言葉かけをする。 時間を短縮できる工程を一緒に考え、アドバイスする。 	

C (3年)	作業規律や課題を意識して作業し、周りの状況に応じて臨機応変に対応できる。時間とともに集中力が低下し、製品の質が落ちることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて他者と連携して、協力しながら作業ができる。 ・集中力を持続させ、質の高い製品を多く製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に連携を促す言葉掛けをする。 ・作業の後半、製品の質に着目し、具体的な改善ポイント伝える。
D (3年)	作業規律や課題を意識して作業ができる。丁寧な作業であるが、作業スピードがゆっくりで生産量が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて他者と連携して、協力しながら作業ができる。 ・作業工程によって作業時間を短縮し、質を落とさず作業量を増やすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に連携を促す言葉掛けをする。 ・時間を短縮できる工程と一緒に考え、アドバイスする。
E (3年)	作業規律や課題を意識して作業し、周りの状況に応じて臨機応変に対応できる。丁寧に手際よく作業できるため、生産量が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて他者と連携して、協力しながら作業ができる。 ・質の高い製品を多く製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に連携を促す言葉掛けをする。 ・具体的に技術面のアドバイスをする。
F (3年)	指示どおりに作業することには慣れているが、自ら計画をたてて段取りよく臨機応変に物事を進めることが難しい。 課題がわかり、次の場面で改善することができるようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画性をもって効率良く作業を進めることができる。 ・トライアンドエラーを繰り返し、最善の方法を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行する前に、段取りを確認する。 ・様々な方法を試すように促す。
G (3年)	作業規律を守ることが難しいが、要点を理解して作業をやり切ることができる。集中力に不安定さがあり、丁寧に作業を行えないときがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語でコミュニケーションをとることができる。 ・作業に責任をもち、丁寧な作業を続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、敬語について注意する。 ・指導者が近くにつかず、一人で作業をする環境にする。

単元計画表


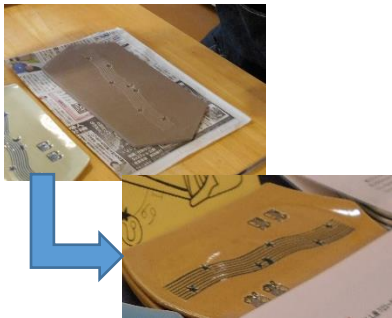
次 (時間)	学習活動	評価規準
1次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習について ・窯業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来働くことと関連付けて、集中して話を聞くことができたか。
2次 (30時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・製品製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題がわかり、課題解決の方策を考え、自ら改善に導くことができたか。 ・全体的な製作状況や場面に応じて、臨機応変に対応することができたか。 ・質の高い製品を多く作るために効率良く作業を進めることができたか。
3次 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・製品仕上げ ・販売準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な製作状況や場面に応じて、臨機応変に対応することができたか。 ・効率良く作業を進めることができたか。

<この単元で身についた力>	<次の単元に生かせる力>
<ul style="list-style-type: none"> ・個だけの動きではなく、組織として作業をやり切る態度が身についた。 ・作業日誌や作業中に課題を明らかにして、課題意識をもって作業に取り組めるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と連携、協力し、組織として、作業をやり切る態度 ・いつでも課題意識や向上心をもって取り組める態度や課題を明らかにする力

「喜びをともにする授業」～多様性は可能性～



児童生徒の変容エピソード

	写真	児童生徒の様子
一次		生徒 B は作業学習の心得やルールについて、就労を見通して説明することで集中して話を聞く姿が見られました。生徒 B は作業学習で取り組む窯業が 3 年目であり、製作した製品をいつ販売するのか見通しをもっていました。
二次		生徒 B は作業学習のルールにのっとり、入退室の仕方等がしっかりできるようになりました。また作業日誌の内容をより細分化することによって、自分の課題が何であるかを具体的に表現できるようになりました。デザインをするときに使用する治具を導入したことで、技術が向上し、質の高い製品を多く製作できるようになりました。黒板には製作状況がわかるように出来高表を提示することで、制作の途中経過がわかり、他者に対して、「あと〇枚です」と言葉かけする等連携する姿が多く見られました。
三次		化粧泥をはんこのくぼみに入れ、余分な化粧泥を流す作業では、分業制で取り組みました。生徒 B は作業の進行状況に応じて、臨機応変に対応して、作業全体が効率よく進行できるように自ら動くことができました。時間を意識して作業することは二次までも継続的に取り組んできましたが、三次では時間内に作業を終わらすために全体の状況を確認しながら作業できたり、丁寧な作業を心がけたりしながら、作業することができるようになりました。

<単元全体をとおして>

集中力の持続、作業に落ち着いて向かうこと、入退室の仕方もしっかり実践できるようになり非常にひきしまった作業ができるようになってきました。また、作業日誌を活用して作業をしっかり振り返り、課題を明らかにすることで技術が向上したり、作業規律を意識したりしながら作業できるようになりました。個々ではなく、仕事は組織で取り組むものとして自分なりに集団に貢献し連携、協力ができてきたので、次の単元では、他者と協働することを意識した単元を考えようと思います。